

コミュニティ壬生野 第37号

壬生野地域まちづくり協議会広報

2008（平成20）年6月1日発行

壬生野地域まちづくり協議会 運営委員会開催される

平成20年5月14日、壬生野地域まちづくり協議会運営委員会が、開催されました。

運営委員会では、自己紹介のあと4月から5月14日までの経過報告があり、平成20年度の協議会の体制について話し合われました。各地区から推薦されたまちづくり委員の確認し、運営委員・まちづくり委員による、5つの専門委員会



（人権・同和、健康・福祉、生活・環境、教育・文化、産業・交流）の構成メンバーが発表されました。

さらに、6つの実行委員会（広報公聴、窓口運営、地域防犯、地域イベント、人権研修、地域防災）の構成メンバーも発表されました。また、毎週土曜日の午前中実施されている窓口運営実行委員会の「ときめきサロン」、地域防犯実行委員会による毎週の昼夜の「地域防犯パトロール」「交通安全指導」の活動はすでに実施が継続されています。

5月中にそれぞれの専門委員会、実行委員会の年間計画を作成し、今年度の具体的な取り組みが示されます。

また、6月6日（金）午後7時30分からまちづくり委員の研修会が開かれます。くわしくは、3ページをご覧ください。

◎平成20年度運営委員を紹介します。（運営委員から役員・幹事が選出されています）

山 畑 区	（米野 滋基 北村 節子 山下 謙一郎）
川 東 区	（五百田 昭徳 奥井 周壘 三根 幸治）
川 西 区	（平地 章昌 福永 金芳 中林 正彦）
西之澤区	（草山 靖雄 中森 晴彦）
希望ヶ丘区	（樋口 正弥 山本 和生 小笠原 光一 井上 雅資 広岡 真）
川西青葉台区	（岸 幸雄 東 正明）
春日丘区	（宮田 清孝 福森 晋）
山 岸 会	（亀井 亮治 岡野 充樹）

◎平成20年度専門委員会の委員長・副委員長・書記（広報・公聴実行委員を兼ねる）の紹介をします。

専門委員会名	委員長	副委員長	書記（兼広報委員）
人権・同和委員会	山下 豊	松馬 小百合 塚脇 千恵	山下 眞司
健康・福祉委員会	五百田 昭徳	山中 亮	福西 清重
生活・環境委員会	丸山 正春	森口 眞伸	岡野 喜子
教育・文化委員会	森川 幸生	草山 靖雄	川口 浩哉
産業・交流委員会	山下 謙一郎	金谷 勝一	中林 正則

防災対策実行委員会より

伊賀市壬生野：防災力診断アンケート結果報告書（報告書の4の項から抜粋）

伊賀市壬生野：防災力診断アンケート結果報告（壬生野地域への提案の部分掲載）

4. 提案

伊賀市壬生野で防災対策を考えるにあたって、まず、家庭・地域ともに防災意識を高めて行く必要があります。まずは、地震災害や防災についての知識を深めるために、防災の専門家を招いて講演会等を開くことが効果的です。その後、家庭での防災、地域での防災と徐々に活動範囲を広げて行きましょう。

評価結果はあくまで、これまで我々がアンケートを実施した地区の平均との比較であり、全ての項目が平均を上回ったとしても安心であると断言できるものではありません。全ての項目が満点に近づくよう、各個人、家庭、地域全体で取り組みましょう。

評価結果より、防災力向上のためのワークショップを実施することを提案します。ワークショップは、防災に関する学習、計画づくり、訓練、検証、で構成し、地域に合わせてその順序を変えます。伊賀市壬生野では図6のような流れで進めると良いでしょう。

この流れを繰り返すことで、防災における地域のつながりが強くなり、また各家庭および一人一人の防災力向上につながります。伊賀市壬生野全体に行き届く、皆さんのための防災対策を立てましょう。



防災に関する講演会等を企画・開催し、防災の知識を深めましょう。

同時に応急救護訓練や非常食の試食等を行う等、より多くの人に参加するよう工夫しましょう。
この時、事前に行った防災力診断アンケートの結果を報告すると良いでしょう。



まち歩きや地域の防災マップ作成を通して地域で交流をはかり、災害時の情報伝達方法や援護が必要な方の避難方法等を話し合しましょう。

いくつかの班に分かれ、自分の住む地域を見廻りましょう。
話し合いの場では、思い思いの意見を発表し合しましょう。



話し合った計画を実行しましょう。避難場所までどのくらいで避難できるか、地域の現状を把握しましょう。

訓練は昼間と夜など、異なる状況で実施してみましょう。
避難の際は非常持ち出し品などを持って避難しましょう。



訓練の反省や実施した計画について話し合しましょう。

本当に災害が起こった時を想像して、話し合しましょう。
これからやるべきことを整理しましょう。

※ お知らせ ※

○まちづくり委員研修会

＜壬生野地域まちづくり協議会主催＞

- 1 日時 平成20年6月6日（金） 19:30から
- 2 場所 壬生野小学校ランチルーム
- 3 講師 辻上浩司さん（三重県職員）
- 4 演題 「地域が主役となるまちづくり」について



○ウォーキングとノハナショウブ観賞

壬生野地域まちづくり協議会健康・福祉専門委員会と健康の駅長共催

ウォーキングコース

壬生野小学校駐車場 —— 壬生野保育園東道路を南へ —— 滝川に沿って北へ —— 水道課 —— 三つ池の道 —— ノハナショウブ群生地への往復路（約4キロメートル）



- 日時 6月14日（土）9時から（小雨決行）
集合場所 壬生野小学校駐車場
受付時間 8時30分から
開始時間 9時から
終了予定 12時
持参物 水筒、雨具、おやつ等各自で
参加自由ですが、各組への回覧により案内パンフの裏面に参加署名をいただき、各区長での集約をお願いしています。

○ノハナショウブの観察会を行います

教育文化専門委員会主催



今年度も、壬生野地域まちづくり協議会（教育文化専門委員会）主催で、6月14日（日）に三重県の指定文化財天然記念物のノハナショウブの群生地を、壬生野小学校の児童とその保護者を中心にして観察会を行います。

なお、参加の申込みは、壬生野小学校で取りまとめています。

○いがまち環境美化デー

6月22日（日）9時から11時まで、いがまち環境美化デーが実施されます。

不法投棄の多いのに驚かされますが、この間、名阪の壬生野インターを降りたところで、前の他府県ナンバーの車から、缶や食べ物の袋やケースの入ったゴミがポイと土手に捨てられました。いやな気持ちになりましたが、見過ごして通過してしまいました。

一人ひとりのマナーで解決のできることなのですが・・・

○「ふれあい いきいきサロン川西」より

5月24日「ふれあいいきいきサロン川西」が開催されました。この会は、川西区の民生委員・福祉協力員が中心となり、年4回行なうことになっています。

この日は、今年度第1回目の開催で、折り紙教室の実施でした。折り紙を三枚つかっての「こま」作りでした。教えてもらって作



ったものを回してみますときれいな彩でよく回りました。また、作るだけでなく、飲み物やお菓子を食べながらの一休みは、日頃、互いに気がつくことを話し合ういい機会となっているようでした。参加していた子どもたちも大変熱中して取り組んでいました。

ちなみに、第2回は3B体操、第3回は楽しい歌の会、第4回は寄せ植えと計画しています。



ときめきサロン

土曜日の午前中は、まちづくり協議会の事務所（壬生の里 2階）へお出かけ下さい。図書貸し出しをします。お茶やコーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりなどをしませんか。是非、子どもさんも一緒に“くつろぎの場”としてご活用下さい。

みなさんのご意見を聞きながら参加がしやすいように改善をしていきますのでよろしくお願ひします。

6月のお世話をさせて頂く担当者は、下記の通りです。(8:30~12:00)	
7日(土)	岸 幸雄、三根 秀男
14日(土)	宮田 清孝、森川 幸生
21日(土)	亀井 亮治、尾崎 満
28日(土)	樋口 正弥、前田 康

ヤマギシだより — 光田農園 —

この春からいちごハウス横の田圃を北出忠良さんからお借りして、子ども達と一緒に米作りをしていくことになりました。名付けて『光田(こた)農園』。5月9日の夕方、4歳から小学生6年生までの子ども達が総出で田植えをしました。20日には合鴨のヒナ26羽が田圃に放され、毎日せっせと草取りをしてくれています。これからの稲と合鴨と子ども達の成長が楽しみです。

— お知らせ —

バラ園のバラは今が盛りです。見頃は6月半ばまでの見込みです。



編集後記

平成20年度定期総会が終わり、壬生野地域まちづくり協議会の本年度事業がスタートを切りました。前月号の会長挨拶の中で地域防災について述べていますが、皆様方も既にご承知のとおり5月12日に中国の四川省においてマグニチュード8.0の強い地震が発生し、多くの命を奪う大惨事になりました。

私たちにとっても、今、災害への予測や対策の大切さが実感させられます。

○平成20年度の広報担当の広報・公聴実行委員会のメンバーをご紹介します。

平地章昌、宮西万衛、薮田きみ子、岡野喜子、川端明子、山本眞司、福西清重、川口浩哉、中林正則、奥井周璽 以上の10名です。よろしくお願ひします。

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会
事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL <http://www.mibuno.net>